

(7) 参考資料

領域の指導と評価計画（全25時間）

時間	ねらい	評価規準
1	材料の特徴と利用法について考える	（○次項パフォーマンス課題とルーブリック参照） 【工夫・創造】
2 3	材料の特徴を理解する	○木材、金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 【知識・理解】
4	使用方法と機能を知る	○製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから材料を選び、利便性の面から比較・検討する方法を身に付けている。 【知識・理解】
5 6	構造と接合方法を知る	○じょうぶな構造について理解し、製作品の構造を考えることができる。材料に応じた接合方法を知り、製作品に適した接合方法を理解している。 【工夫・創造】【知識・理解】
7	製作品の構想を検討する	（○次項パフォーマンス課題とルーブリック参照） 【工夫・創造】
8 9	等角図とキャビネット図を理解する	○等角図とキャビネット図を書くことができる。等角図やキャビネット図などの見方やかき方についての知識を身に付けている。 【生活の技能】【知識・理解】
10 11	製作図を記載する	○製作品の使用目的や使用条件を明確にし、材料や丈夫さを検討した上で、製作品の形状と寸法などを決定している。製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 【工夫・創造】【知識・理解】
12 13	設計図を基に、けがきをする	○省資源や使用者の安全などに配慮して、設計・製作しようとしている。けがきの役割と、切りしろ・けずりしろの必要性を知り、正確にけがきができる。 【関心・意欲・態度】【生活の技能】
14 15	切断戦にしたがって切断する	○切断、切削などに必要な工具や機器を、使用方法に基づいて適切に操作することができる。 【生活の技能】
16 17 18	切断面の部品加工をする	○材料に適した切断、切削などの方法についての知識を身に付けている。 【生活の技能】
19 20	仮組立てと修正をする	○省資源や使用者の安全などに配慮して、製作しようとしている。必要に応じて適切に部品の修正ができる。 【関心・意欲・態度】【生活の技能】
21 22	下穴の加工と組み立てをする	○接合部のけがきや下穴あけなど、工具や機器を適切に使用して、正確に組み立てができる。 【生活の技能】
23	やすりがけをする	○製作品に適した下地づくりや塗装方法を選択することができる。 【生活の技能】
24	製作品の評価をする	（○次項パフォーマンス課題とルーブリック参照） 【工夫・創造】
25	社会と環境について知る	○身の回りにある製品について、設計の意図を主体的に取り組もうとしている。循環型社会の形成のための製品開発や技術開発が進められていることを理解している。 【関心・意欲・態度】【知識・理解】

【パフォーマンス課題】（第1時）

保育園に設置するベンチの素材には、どんな素材が適切なのか考えよう。 【工夫・創造】
1 / 25

【ルーブリック】

判断する目安 （判定基準）	十分満足できる状況 （A）	おおむね満足できる状況 （B）	努力を要する状況 （C）
	判定基準（B）に加え、2つ以上の視点から材料を選び、園児の立場に立った判断をしている。	ベンチの素材選びにおいて、適していない素材に「布製・糸製」を選択している。	判定基準（B）に達していない記述・発言をしている。
パフォーマンス事例	ベンチを設置する場所が保育園であるため、安全性や園児の使用目的を第一に考慮した素材の選択をしている。	布製・糸製のベンチでは、屋外に設置するため、雨でぬれたときに利便性が大きく損なわれることを記述・発言している。	布製・糸製のベンチを、屋外に設置することを考慮していない。
→（B）、（C）と判断した生徒への支援		→複数の視点から材料を選ぶ大切さと、使用者の視点を重視するよう声掛けをする。	→雨が降ったときや雨上がりのときの利用について考えてみるよう声掛けをする。
評価方法	ワークシートの記述、発言の内容		

【パフォーマンス課題】（第7時）

自分の部屋をより快適に暮らしやすくする、製作品の構想図を作ろう。 【工夫・創造】
7 / 25

【ルーブリック】

判断する目安 （判定基準）	十分満足できる状況 （A）	おおむね満足できる状況 （B）	努力を要する状況 （C）
	判定基準（B）に加え、寸法や強度、設置場所を具体的に想像し、独自のアイデアや工夫が構想図に反映している。	使用目的に適した構想図をスケッチしており、材料計算をして、材料を過不足なく有効利用している。	判定基準（B）に達していない構想図をスケッチしている。
パフォーマンス事例	寸法や強度、設置場所の面からも検討し、構想図をスケッチしている。	使用目的に適した構想図をスケッチしており、材料計算ができています。	使用目的に適した構想図をスケッチしていない。または、構想図の材料計算ができていない。
→（B）、（C）と判断した生徒への支援		→具体的に設置場所や使用条件をイメージさせ、工夫やアイデアを入れられないか声掛けをする。	→使用目的を決定させる。作品例を提示し、より具体的なイメージをもたせるようにする。
評価方法	構想図の記載		

【パフォーマンス課題】（第24時）

友達の製作品と比較して、安全性や強度、使用目的や使用条件等の視点から、自分の作品を評価しよう。（自己評価） 【工夫・創造】 24/25

【ルーブリック】

判断する目安 （判定基準）	十分満足できる状況 （A）	おおむね満足できる状況 （B）	努力を要する状況 （C）
	判定基準（B）に加え、利便性やデザイン等の面からも優れた製作品に仕上がっている。	安全性と強度面の条件を満たした製作品に仕上がっており、かつ使用目的に適した製作品ができ上がっている。	作品を完成できていない。または、判定基準（B）に達していない作品である。
パフォーマンス事例	安全性と強度面の条件を満たした製作品であり、利便性やデザイン性の面からも優れた製作品を作っている。	製作図を基に、製作している。また、製作品は安全に使用することができ、日常生活で利用できる作品を作っている。	作品が完成していない。または、安全性か強度面に問題があり、補修かやり直しが必要な箇所がある。
→（B）、（C）と判断した生徒への支援		→友達の製作品と比較させ、自分の製作品に取り入れておけば良かった箇所やアイデアはどんな箇所だったのかを考えさせる。	→どの行程で遅れたのかや、見通しの甘さがあったのかを考えさせる。安全性と強度面に注目するよう声掛けをする。
評価方法	ワークシートの記述、発言内容		

【パフォーマンス課題】（第24時）

友達の製作品を評価し、安全性、強度（素材）、利便性、デザイン、コスト、環境の中で、次回のものづくりで配慮しなければならない項目を考えよう。【工夫・創造】 24/25

【ルーブリック】

判断する目安 （判定基準）	十分満足できる状況 （A）	おおむね満足できる状況 （B）	努力を要する状況 （C）
	判定基準（B）に加え、安全性と環境との関わりを満たした、ものづくりが大切であることを理解している。	友達の製作品を、複数の視点から評価している。また、次回製作する際に、重視する視点について考えることができる。	友達の製作品を、複数の視点から評価することができない。
パフォーマンス事例	友達の作品の良い部分を適切に評価している。また、安全性と環境との関わりからの視点から、製作品づくりを考えさせた記述をしている。	友達の作品の良い部分を適切に評価することができる。また、次回製作する際に、重視する視点について記述している。	友達の作品の良い部分を適切に評価することができていない。
→（B）、（C）と判断した生徒への支援		→次回ものづくりを行うことを想定させ、配慮しなければならない点を考えるよう声掛けをする。	→自分の作品と比較し、違う所はどこか考えるよう声掛けをする。
評価方法	ワークシートの記述、発言内容		